

た新米「ゆめぴりか」10俵(約600kg)は、北海道神宮の新嘗祭(にいなめさい)で神前に奉納され、1年間毎日神前に供されま



品質と収穫量に期待、新米初検査式

9月3日、東川町農協玄米センター(西3号北31)にて、令和元年産の東川米初検査式が行われまし

樽井功農協組合長は「8月中旬に収穫できたのは昭和59年以来2回目。順調にきたので良い米ができて



開拓の功労者、家畜に感謝

9月3日、忠別公園(南町2-14)にて家畜感謝祭が執り行われ

るだろう。令和になった今年は東川米が全国に打ち勝つための大切な年。事故の無いように出荷してもらいたい」と挨拶しました。

今年の第一号検査は、三田和幸さん(28区)が8月30日に収穫した「ほしのゆめ」2ト。水分含有率15%、整粒歩合74%の一等米と評価され、タンパク値は7.4%

上川農業改良普及センター大雪支所の辻英敏係長は「6月は一時的に寒く稲の葉が黄化したが、7・8月はずっと暖かかったため生育旺盛になった。作況指数は105以上と期待されており、今年

ました。畜産振興協議会(会長:樽井功東川町農協組合長)が主催し、同公園に建立された「家畜感謝の碑」および「くわりの碑」前

樽井会長は「開拓の歴史を紐解けば、馬が木の伐採などで活躍し、自宅でも豚や鶏を飼っていたことが思い出される。今私たちが生活



くつろぎ時間でホッとく息、河口恭吾カフェツアー

8月7日、地域交流センターゆめりんにて、東川では3回目とな

る「河口恭吾氏カフェツアー」が開催されました。「協力:観光協会」



▲ギターで弾き語りする河口さん

ドートレトミシーがオーブニングアクトを務め、河口さんにバトンタッチ。ギターやハーモニカを用いて、オリジナルやカバー曲を熱唱。MCでは2016(平成28)年に大雪・旭岳SEA TO SUMMITにエントリーしたエピソード

スケボーは休止しましたが、子どもたちが「反り立つ壁」として楽しんで遊んでいました。

夜の部では中川氏が2年前にモンゴル・アルタイ山脈へスノーボードの遠征をした旅の映像や、向氏が平成11年に16mmカメラでマリブ(アメリカ西海岸)へニューヨーク(同東海岸)まで旅した際に



蘇る20年の記憶 第三小でタイムカプセル開封

9月1日、東川第三小学校にて、20年前の創立100周年記念で埋設したタイムカプセルを開封しました。同120周年記念事業のひと

カプセルの中には当時の写真やプリクラ、手型・足型、版画、絵シユーズのほか、テストの答案用紙(100点)、旧千円札(夏目漱石)、たまごっち(当時流行の携帯ゲーム機)、ワイン(500円)などの面白アイテムも眠っていました。集まった約50人の中には涙する人もいるほど、20年前の思い出が鮮明によみがえったようです。

写真で切り撮る東川、インスタミート

9月8日、(一社)ひがしかわ観光協会と㈱東京カメラ部の主催で「東川インスタミート」が行われました。インスタグラムを活用した観光PRとして、有名インスタグラマーと一般参加者が大雪旭岳源水公園や旭岳、稲の美る農地



©Hiroshi Tanita

岳も美しい写真に収められ、普段目にするとは違った角度から切り撮られた町の風景には思わず「インスタ映えとはこういうことか!」と気づかれます。投稿作品はインスタのハッシュタグ(#meetingashikawa)で検索できるほか、観光協会HPの特設リンクから見ることが出来ます。

観光協会HP「ようこそ東川」

http://www.welcome-higashikawa.jp/

日本語留学生を招き入れて千人突破 吉田さん夫妻

9月11日、吉田孝志さん・秀美さん夫妻の自宅を訪れた留学生が1000人を突破しました。



▲右上が吉田さん夫妻

孝志さんが町内の喫茶店で日本語を勉強する台湾人の女生生を見かけ、「妻が中国語を話せるので家に来て勉強しませんか」と声をかけてから約8年。これまで町立日本語学校や北工学園で日本語を学ぶ、台湾やベトナムなど14か国

からの留学生から悩みを聞いたり手料理やお菓子をふるまったりしてきました。今では「日本のお父さん、お母さん」と慕われ、留学生にとつての「心のホーム」です。

お二人の心遣いは学生間で広まり、今では吉田さんを紹介することは先輩から後輩への申し送り事項になっているとか。この日は14人が来訪し、記念すべき千人目となった輩世尊(トウセイソン)さんには日本人形のサプライズプレゼントも。

初開催、フットキャンプ

8月31日、せんとびゅあ夢生広場にてRABBIT CAMP(フットキャンプ)in Higashikawaが初開催されました。窮屈な世の中に「自由な生き方」を提唱し、何にも縛られない音楽やアートを共通言語として「面白い、楽しい」を感じて欲しいと、アートディレクター・向圭二氏が主催して全国を巡っています。今年は大雪山を中心に山岳・自然ガイドを行うNatures(ネイチャーズ)代表・



中川伸也氏のプロデュースで、東川町からのツアースタートとなりました。

昼の部では特設のミニランプ(半筒型の構造物)でスケートボードのセッション。アール(湾曲部分)やコーピング(へりのパイプ部分)を使った技に歓声が上がりました。当日はたびたびの雨で

日ハムより公認、ファイターズ東川町後援会

かねてより活動していた北海道日本ハムファイターズ東川町後援会が、球団より公認を得て再発足しました。庄内孝治会長のもと、9月15日に設立総会を開催。

同団体は今後、スポーツコミュニティを通じた地域の活性化と青少年育成を図るため、球団との意見交換やイベント企画、応援グッズの作成や球場での試合応援、日ハムからの元プロ野球選手招へいなどを予定しています。

加入をご希望の方は事務局・森田さん(☎090-3339-1334)までご連絡ください。

